

コンテナトラブル早見表

グレンコンテナ

サービスコールの内容		考えられる原因 及び 対応	
靱の排出ができない	モーターが回らない	電源ランプがつかない	電源スイッチをONにした状態で電源コードを差し込んでいる。 屋内コンセントに3相電源がきていない 電源コードが断線している 屋内コンセントの3相のアース位置がずれている コントロールボックスが故障している ⇒ コントロールボックスを交換する。 正逆切替スイッチが中立になっている(EX以前)
		電源ランプは点灯する	マグネットスイッチが焼損している(ボックス内) ⇒ マグネットスイッチを交換する。 (応急処置：モーターを直結で排出。回転方向に注意 やり方はボックス内に紙が入っている。)
			過負荷ランプが点灯している (1) オーガ磨耗のチェック (2) モーターの欠相運転(モーターまでの電源をチェック) (3) ホースソケットの押しネジのゆるみ (4) マグネットスイッチの導通チェック
			残量センサーのランプが点灯している (1) ホッパー内の靱の残量が少ない (2) 残量センサーの故障(残量センサーの導通チェック)
			モミセンサーのランプが点灯している (1) ホースの排出口付近が靱でいっぱいになっている (2) モミセンサの故障
		電源が逆相になっている。(EX以前)	
	モーターは回る	モーターがうなる	3相モーターの欠相運転
		送りバネが回らない	ホース用モーターの故障 ⇒モーター交換
			ホース送りバネが切断している ⇒バネ交換
			ホースのソケットが空回りしている フレキシブルシャフト切断(UD以前) ⇒フレキ交換
自動運転ができない	モーターが止まらない	ホッパー内の靱がなくなっても止まらない マグネットスイッチの溶着	
		ホース出口が靱であふれている モミセンサーの故障	
		靱がホッパーに残ってしまう。 靱がブリッジして残量センサー付近がほれてしまう。 ⇒シャッターは全開で使用する。	
屋内ブレーカーが落ちる	漏電遮断機が落ちる	モーターの漏電、コントロールボックスの漏電 モーターコードの短絡	
	安全ブレーカーが落ちる	ブレーカー電気容量の不足	
	モーターブレーカーが落ちる	3相モーターの欠相運転	
ホースの穴あき	シャッターを絞りぎみで使用している	ホースを空運転に近い状態で使用している	
	シャッターは全開で使用している	ホースを無理に曲げたり、何かのカドに当たっている	
靱がもれる	ジョイントボックス付近から靱がもれる	ホースがしっかり入っていない	
		パッキンのむしれ ⇒ パッキン張替え ジョイントボックスの変形 ⇒ ジョイントボックス交換	
	オーガカバー付近から靱がもれる	オーガカバーのゆるみ	
モーターが焼損した		サーマル設定の誤り	